

# WING NEWS

1989・Aug



*Shigeo Imabashi*

ブリストル・ブルドックIV4

1930年

E/G ブリストル・ジュピターVII F490 Hp

最大速度 286 Km/h

ホンダフライングクラブ  
ホンダフライングスクール

97

# ★オケガワ アドバイザー再発見!

“オケガワアドバイザー”が開局されたのが昨年の4月20日。一年を経過して、すっかりおなじみになりました。付近を通過する航空機も位置通報やモニターをしてくれています。女性のボイスが聞けるのも関東では唯一。(横田を除けば!)ここでもう一度、オケガワアドバイザーを見直してみましょう。

## オケガワ アドバイザーの施設

●大気圧計  
平均海面からの高さ  
分約0.05 inHgを  
足すとQNHとなる。



●タワーマン  
本田航空の操縦士が行なう。

●オケガワアドバイザー送受信機  
(A3E型130.75MHz)

●風向風速計  
タワーの屋根の上に計測装置がある。

●カンパニーレディオ  
(123.50MHz)

●飛行場内アナウンス用  
マイク

●飛行場灯火スイッチ

●双眼鏡  
機体(時には女の娘?)の確認に使用する。

通称タワーと呼んでいる通信ルームに行ったことがありますか。タワーマンは通常1名、スカイダイビングを行なう日には2名が配置されて、トラフィックを見守っています。ホンダフライングクラブ、スクールの方なら大歓迎です。ぜひ見学に来て下さい。

# オケガワ アドバイザー のサービス

航空機の飛行援助用の航空局としては、岡南飛行場について日本で2番目。トラフィックの多いホンダエアポートにとって、なくてはならない存在となりました。コンタクトして許可をもらうという訳ではないので、必ずしもいちいちインフォメーションをもらう必要はないのですが、専用のタワーマンがトラフィックの状況を目視で確認しているの、自機の位置とインテンション（意志）を伝えておいて下さい。他機にあなたの存在を知らせてくれるし、パターンに入りやすいよう、状況を教えてくれるでしょう。航空機がより安全により効率よく飛行できるよう設置されたオケガワアドバイザーです。日本語でけっこうですから、お気軽におたずね下さい。

トラフィックインフォメーションに加えて、QNHの算出もできます。遠くから帰ってきた時などリクエストしてみてください。また、視程が悪い時など、REILやVASIS飛行場灯台などもリクエストいただければ点灯します。

ただし、フライトプランのファイルとクローズは緊急の場合を除いて、オケガワアドバイザーへ依頼しないよう願います。これは機長自身の義務であり、クローズした、していない等のトラブルの元となりますし、局へ電話している最中にはアドバイザー業務に支障をきたすことになり危険です。しかし、フライト中のプランのエクステンド等についてはできるかぎりご協力さしあげます。

## ホンダエアポート近辺でのレポート要領

ホンダエアポートでは特にレポートングポイントとして定めてはありませんが、ほぼ5NMあたりでレポートしてインフォメーションをもらって下さい。北から入る場合は鴻巣市、東なら久喜か伊奈町、南なら大宮NDB、西は川越市がよいでしょう。R/Wの方向を聞いたら、次のレポート地点を言っておいて下さい。レポートする時は位置と高度も言う方がベターです。

先月号でも述べましたが、オケガワローカルという一方送信は廃止され、すべてオケガワアドバイザーのコールサインで送信することになりました。位置通報もオケガワアドバイザーあてに行なって下さい。

### 無線局免許状

発行人の氏名又は名称	本田航空株式会社		
無線局の種類	航空局	免許の番号	周波 47020号
無線局の目的	飛行援助用	免許の発付日	昭和63年4月20日
運用者等種別	常時	免許の有効期限	昭和67年11月30日まで
運用の種別	航空無線		
運用事項	ホンダエアポートにおける航空機の援助に関する事項		
無線設備の設置場所	送受信所 埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷1番地1 本田航空株式会社 本社運航管理室 送受信空中線の位置 北緯 35度 58分 17秒 東経 139度 21分 16秒 通信所 埼玉県越川市川田谷無蓋地 ホンダエアポート内運航管理室		
呼出符号又は呼出名称	電波の形式及び周波数	送受信電力	電波の型、電波の又は送受信電力の条件
OKEGAWA ADVISORY	A 3 E 130.75 MHz	10W	
出典：無線局の運用に関する事項は、この無線局の無線設備を運用し、特定の機材に対して行われる無線通信に限定してその用途にのみ使用される。又はこれを空用してはならない。 昭和63年4月20日 関東電気通信監理局長			

オケガワアドバイザー無線局免許状

# 日曜日には スカイダイビング!

天気の良い土日祭日、スカイダイバーが優雅に舞い降りてくる姿を目にすることができます。ここホンダエアポートは、スカイダイビングのメッカとして有名で、ゴールデンウィークにはキャラバン2機とピラタスターポーターが大活躍しました。そのお蔭で、ホールドさせられたという方も多いと思いますが、同じ空の仲間同志仲よく空域を共有していただきたいと思います。

そこで、このダイビングのシステムをちょっとご紹介しましょう。相互理解を深め、安全に楽しくホンダエアポートを利用して下さい。



▲タンデムで降下してくるスチューデント

スカイダイビングに使用する機体はおおむねC208キャラバンですが、時にはC206やピラタスターポーターPC-6が使われることもあります。C208には9名のダイバーが搭乗でき、最高12,500 Feetから降下し、フリーフォールと呼ばれる自由落下の状態です。手をつなぐなどの演技を行ない、3,000 Feet ぐらいでパラシュートを開いてドロップゾーンへ向かって降ります。メインパラシュートは四角くカラフルで滑空比もよいのですが、予備のパラシュートは丸型で操縦性が悪いとのこと。降下はドロップゾーンより風上で行ないますが、風が強い時など流されないよう技術が必要です。

スチューデントは地上で訓練した後、2名のインストラクターと組んで降下トレーニングに入ります。いきなり一人で飛ぶのはコワイ! という人のためには、教官がダッコして降りてくれるタンデムもあります。

今年4月30日には、キャラバン2機とPC-6が一度に離陸し、22名のダイバーが手をつないで輪を作るのに成功しました。もちろん日本記録です。外国のように百人もの輪は機体の都合がつかないためまだ難しいようですが、ここホンダエアポートで少しずつ記録を塗りかえていくことでしょう。

ダイビング実施中はご存知のように離着陸及びパターン内の飛行は制限されます。降下は基本的には毎時ちょうどに実施されますので、タイムスケジュールと離着陸の目安を右にまとめてみました。これを参考にして安全なフライトに努めて下さい。決して無理に離着陸を行なわないよう、オケガワアドバイザリーの指示に従って下さい。

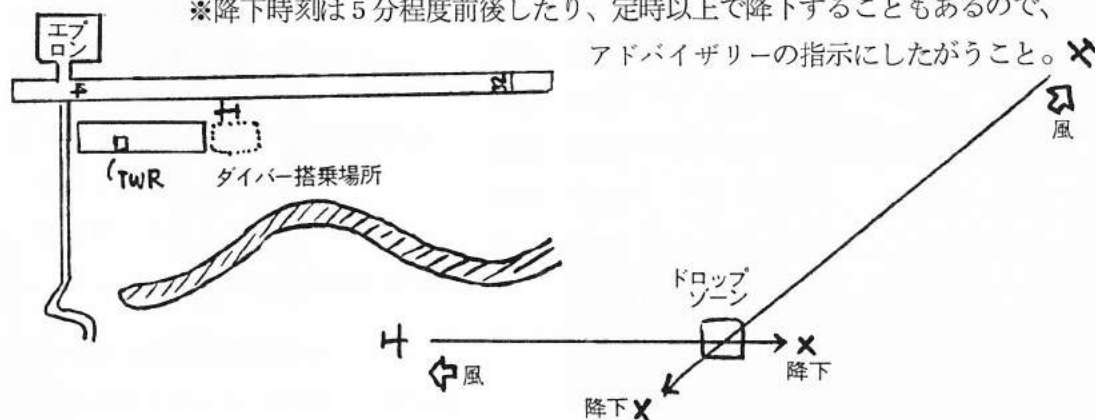
# スカイダイビング実施時 における離着陸の目安

時刻	ダイビング機	オケガワアドバイザー	着陸機	離陸機
40 56	離陸して高度10.500 Ft ないしは12.500 Ft へ上昇	定時降下の実施についてインフォメーションを流す	ノーマルオペレーション	離陸が57分以降になりそうであれば、ダイブ終了まで待機。
57	所定高度へほぼ到達“まもなくジャンプラン”のコールが入ることも。	あと3分程でダイビングが行なわれることをアドバイスする。	経路内の機体はすみやかに着陸する。その他の機体はパターン外にてホールド。	ランナップ完了機で状況が許せば離陸は可能。
58	所定高度へ達し、飛行場上空へアプローチ開始。“ジャンプラン”コールあり。	離着陸及び場周経路の飛行制限を宣言し、ホールド等の指示を出すこともある。	ファイナルの機体は着陸できるが、その他の機はホールド。	地上にてホールド
00	ドロップゾーンより風上側にてダイバーを降下させる。“○名降下”。	ダイビングの状況についてインフォメーションを流す。	位置、高度をレポートしてホールド	地上にてホールド
01	ダイバーを確認しながら降下。	パラシュート開傘の確認。最も高いものについて情報を流す“○名開傘確認”トップ3000 Ft”	コンテニューホールド	地上にてホールド
07 10	西側パターンに入りアプローチ開始	全ダイバーの接地を確認し、ノーマルオペレーション回復の宣言を行なう。	他機のレポートを考慮し、順序よくアプローチを開始する。ダイビング機に注意。	着陸機のじゃまにならない範囲で離陸する。

※ジャンプランとは一所定高度に達し、ダイバーを降下させる地点までの最終アプローチのこと。必ず風に正対して進入する。

※降下時刻は5分程度前後したり、定時以上で降下することもあるので、

アドバイザーの指示にしたがうこと。



スカイダイビングのドロップゾーンとジャンプラン

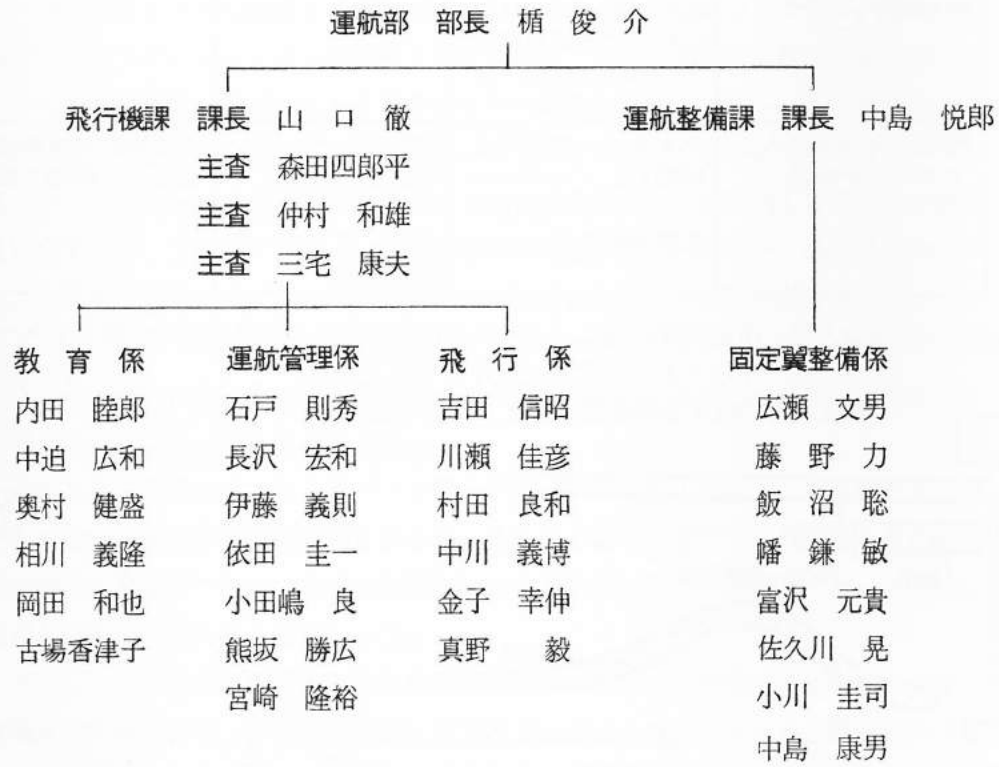


# ウィングニュース

## 本田航空(株) 運航部編成が変更されました。

この春より、運航部の編成が変更されました。クラブ員の方々と結びの深い飛行機課については、フライングスクール、クラブ、社内の訓練を指導、実施する教育係、飛行業務を行なう飛行係、飛行に係る管理業務、申請関係をひきうける運航管理系の3つに分かれています。また、運航整備課があらたに設置され、日常点検、ガスアップ、時間点検、その他管理を責任もって行ないます。通常の運航についての質問、要望、不具合事項の報告などございましたら下記の者までお気軽にどうぞ。

運航部所属者一覧（飛行機関係抜粋／6月5日付）



## 特殊無線技師(丙、レーダー)試験のお知らせ

特殊無線技師の試験が下記の日程で実施されます。最近ではDME 装備の機体が増えていきますので、特にライセンスの方はレーダーの資格をお取りになられるようお願いいたします。申請用紙は受付にお申し出下さい。

試験期日：特無 丙 10月5日

レーダー 10月6日

申請期日：8月1日～25日(消印有効)

## 年会費の口座振替(自動引落し)について

先般ご通知しましたように、年会費は口座振替(自動引落し)となりますが、経理の都合上振替日は年一回毎年1月に全員共通にて振替させて頂きたく存じます。従って、第1回振替日は平成2年1月となりますが、一回目に限り、皆様の入会月を基準とした月割計算(月額2500円)とし、次回平成3年1月からは一律30,000円を口座振替といたします。振替日につきましては、各自取引金融機関により多少異なりますが御了承下さい。なお、カードは8月末～9月末頃になると思われます。

## スリングスビー式T67M体験飛行受付開始!

お待たせしました。8月1日より全FRP製フルアクロバット可能のスリングスビー式T67の体験同乗飛行を受付ます。しかもPR期間(8月1日～10月31日)中はスクール料金(下記参照)でOK。マニュアルご希望の方は受付へお申し出下さい。

### ★8月1日～10月31日飛行料金

平日：34,200円/H

日曜日：36,000円/H

(エコノミー料金は適用されません。)

### ★11月1日以降飛行料金

63,000円/H(平日、日祭日共)



# USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています。

## 7月中に切れる方

安達芳治さん	7/27	笹野雄一さん	7/4	林辺信雄さん	7/20
伊藤良夫さん	7/9	藪納実さん	7/13	緑川安弘さん	7/6
大武秀夫さん	7/13	名倉彰男さん	7/4	南行彦さん	7/17

## 8月中に切れる方

新井通久さん	8/3	佐藤勝美さん	8/22	宮園久良さん	8/3
宇梶栄さん	8/9	沢田長吉さん	8/3	峰岸康志さん	8/8
小沢健二さん	8/1	関口昌宏さん	8/22	森田重夫さん	8/1
黒子明宏さん	8/22	関明さん	8/22	山本利幸さん	8/30
小林保美さん	8/24	泉水薫夫さん	8/11		
三枝広美さん	8/24	土志田昭二さん	8/18		

## 9月中に切れる方

神谷宏次さん	9/26	辻健二さん	9/25	森田茂さん	9/7
キャサリン・アンさん	9/26	都築秀美さん	9/19	柳林実さん	9/15
田中規夫さん	9/26	野上晃さん	9/19	湯沢弘巳さん	9/19

## 申請に必要なもの

住民票	1	通
練習許可申請書	1	通
写真(インスタントは不可) 3.5 cm × 4.5 cm	2	枚
印鑑(シャチハタは不可)		
申請諸費用	3,000	円

◎身体検査の受診場所(事前連絡が必要です。)

宮入内科	(有楽町交通会館)	03-211-4845
健康管理センター	(浜松町貿易センタービル)	03-435-5702
国際空港診療所	(羽田空港出発ロビー)	03-747-7755

## 【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っているスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早目に本田航空、運航部あてに御連絡下さい。 TEL 0492-97-2000



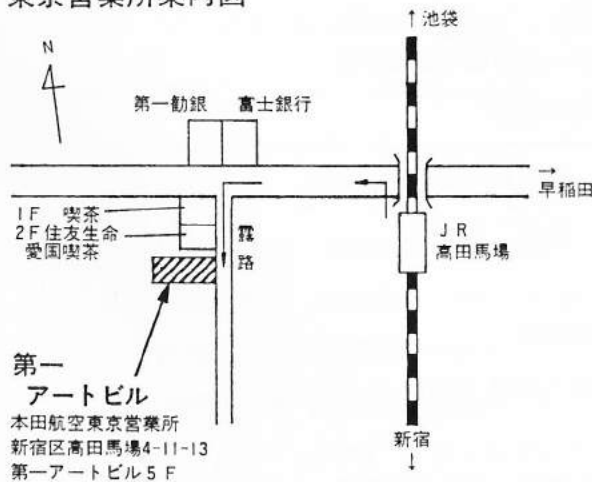
# ❖ ❖ ❖ 学 科 講 習 ❖ ❖ ❖

スクール、クラブ員を問いません。ご希望の講習に顔を出してみてください。小人数のアウトホームな雰囲気ですので、お気軽に何でもおたづね下さい。また、高田馬場での講習会は予約制となりました。当日の昼までに、0492-97-2000までご連絡下さい。連絡のないときは休講となります。

8 月		
日 付	科 目	教 室
2 (水)	航空通信 - 4	桶
4 (金)	航空法規 - 4	高
7 (月)	航空工学 - 4	桶
9 (水)	航 法 - 5	桶
11 (金)	航空気象 - 4	高
14 (月)	計器飛行 - 4	桶
16 (水)	航空通信 - 4	高
18 (金)	航空工学 - 4	高
21 (月)	航 法 - 6	桶
23 (水)	航 法 - 6	高

9 月		
日 付	科 目	教 室
1 (金)	航空法規 - 1	高
2 (土)	特殊無線 - 1	桶
8 (金)	航空気象 - 1	高
9 (土)	特殊無線 - 2	桶
13 (水)	航空通信 - 1	高
16 (土)	特殊無線 - 3	桶
20 (水)	航空工学 - 1	高
22 (金)	特殊無線 - 4	桶
27 (水)	航 法 - 1	高
29 (金)	特殊無線 - 5	桶
30 (土)	特殊無線 - 6	桶

## 東京営業所案内図



時刻：18：00より

講 習 無 料

桶：本田航空本社 2 F

高：本田航空東京営業所

(高田馬場)

03-368-1821

# 〔学 科 講 習 内 容〕

## ホンダ・フライング・スクール 自家用操縦士課程

(40回 120時間)

科 目	内 容	受付受講印
航空法規(1)	航空法令の分類 定義 登録 航空機の安全性	
(2)	航空従事者 航空路 飛行場 航空保安施設	
(3)	航空機の運航(1)	
(4)	航空機の運航(2) 罰則	
航空気象(1)	大気 気温 気圧 安定 雲 霧 視程	
(2)	風と台風 低気圧 高気圧 気団	
(3)	前線と雷雨 天気図 着氷	
(4)	航空気象通報式	
航空通信(1)	通信組織 航空交通業務 航空交通管制業務	
(2)	航空情報 <b>AIP NOTAM AEIS</b>	
(3)	管制用語 局地交話法 <b>RADIO TOWER</b> との 交信要領	
(4)	機上電源	
航空工学(1)	飛行機の構造 航空力学	
(2)	航空計器 動力装置(1)	
(3)	動力装置(2) プロペラ 飛行機の装備系統	
(4)	重量重心 耐空性 飛行規程	
航 法(1)	航法の概要 航空図 用語の定義 航法計器	
(2)	航法計算盤の使い方 風力三角形	
(3)	航法計画の作成	
(4)	基本航法の計画と実施要領	
(5)	航空保安施設の利用法 ( <b>ADF VOR</b> トランス ボンダー)	
(6)	野外飛行の計画と実施要領 緊急時の手順	

科 目	内 容	受付受講印
計器飛行(1)	計器飛行の歴史 計器の見方 <b>G</b> / <b>HG</b> / <b>G</b> 旋回計等 基本計器飛行 (2) <b>ADF</b> (指示器の見方 <b>LOP</b> ホーミング インターセプト アプローチ) (3) <b>VOR</b> (指示器の見方 ラジアル <b>LOP</b> インターセプト) (4) 計器飛行方式による飛行の方法 ( <b>IFR</b> )	
空中操作(1)	地上点検 離陸 レベルオフ 旋回 上昇降下 異常姿勢からの回復 スローフライト ストール 基本着陸 (2) 地上目標による 720° 旋回 (パイロン) 緊急操作 (エンジン系統、機体等の故障、着水) 短距離離陸 ノーフラップ着陸 失速着陸 短距離着陸 (3) 180° スポット着陸 シャンデル レイジー 8	
運搬一般(1)	飛行の準備 機長の出発前の確認事項 航空機の整備状況の確認 重量重心の確認 (2) 航空情報の確認 気象情報の確認 燃料滑油の確認 積載物の安全性 (3) 飛行計画 航空衛生 救急法 一般知識	
特殊無線(1)	電波法(1) 総則 無線局の免許 無線設備 無線従事者 (2) 電波法(2) 運用 監督 業務書類 通信術 (3) 無線工学(1) 予備知識 無線電話の基礎 (4) 無線工学(2) 無線電話の基礎 無線電話の設備 (5) 無線工学(3) 無線電話の設備 (6) 無線工学(4) 無線電話の設備 ファクシミリ <b>ATC</b> トランスポンダー テレメータ 通信術	

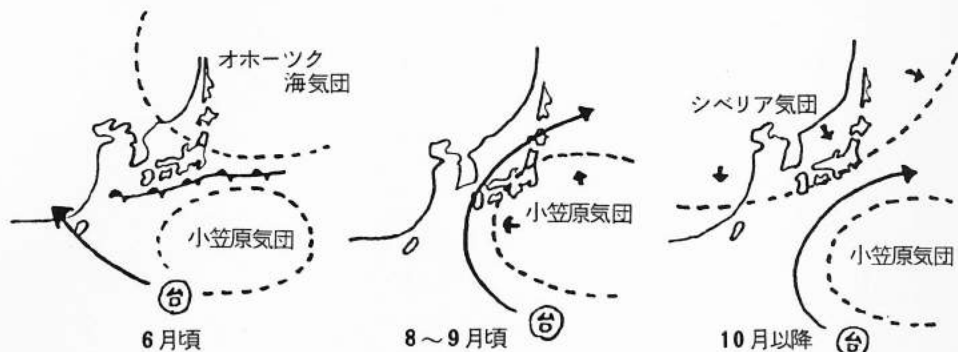
★ ★ 学科講習携行品 ★ ★

- 航空法規 — 航空法、AIM
- 航空気象 — 航空気象入門、AIM
- 航空通信 — コピー配布します
- 航空工学 — 航空工学入門
- 航 法 — (1)基礎航法教室  
(2)基礎航法教室  
    航法計算盤  
    航法計算盤の使い方  
(3)(4)航法計算書の作り方  
    航法計算盤  
    プロッター  
    1/50区分航空図  
    航法計画書  
(5)操縦訓練マニュアル  
(6)航法計算盤  
    プロッター  
    区分航空図 8501
- 計器飛行 — 操縦訓練マニュアル、AIM
- 空中操作 — コピー配布、操縦訓練マニュアル
- 運航一般 — コピー配布、AIM
- 特殊無線 — 電波法規、無線工学

# ワンポイントレッスン

Q：台風の進路は秋になるにつれ南よりになってくるのはどうしてですか。

A：台風は勢力の強い気団のふちを回って進みます。初夏の頃は日本付近はオホーツク気団と小笠原気団におおわれ、東進できずに消滅しますが、盛夏には勢力の強くなった小笠原気団の回りを大きく回って日本に接近します。初秋になると小笠原気団は後退し、変わってシベリア気団が北より張り出してくるので、それらの谷間にそって日本の南を東進するわけです。



## クラブ員の皆様へ

■この秋、クラブ員の方々の交流を深めるため、三宅島一泊ツアーを計画しています。期日は未定ですが、参加希望の方は早目に名のりを上げておいて下さい。本田A Pから三宅島まではわずか1時間半。参加費は4,000円（予定）飛行料金、宿泊料、島内観光料金含みます。飲酒代、特別料理代等はクラブ予算より援助します。乗馬やアーチェリー、ウィンドサーフィンも楽しめる三宅島、一度は優雅に空から訪ねてみませんか？お申し込み、お問い合わせは、クラブ担当業務課大江まで。

■クラブだよりが“ウイングニュース”となって4号目、いよいよ内容も充実してきたと自負しています。クラブ員の方々の寄稿、質問等も大歓迎です。どしどしお寄せ下さい。また、ロングナビゲーションに出かけられる方は、ぜひ空港や観光地等の写真や情報をご提供ください。これから行かれる方のため、紹介したいと思います。

■クラブ・スクールの会員証が完成しましたので、2.5 cm × 2 cmの顔写真をご持参下さい。

**HA 本田航空株式会社**

埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1  
TEL 0492-97-6111(代表) 〒350-01

表紙イラスト：板橋 繁男

